

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

大場地域ケアプラザ

■ 事業報告

事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

大場地域ケアプラザの担当エリアは、あざみ野団地やイディオス等、大型の団地やマンションもありますが、全体的には戸建ての住宅の多い地域です。坂の多い地形で、入り口に階段のある住宅も多く見られます。そのため、高齢になり足腰が弱ると外出が困難になることなどが懸念されます。

ケアプラザは、駅から離れた場所にあること、坂の上にあることなどから、一部地域の方には利用しづらい立地条件にあります。また、大場町はエリアが広いため、最寄りのバス停からケアプラザに直通で来ることができず、バスと電車の乗り継ぎが必要な地域もあります。

ケアプラザの自主事業では「健康」「認知症予防」などのテーマには関心が高く、このようなテーマで実施すると他の自主事業よりも参加者が多い傾向があります。

年少人口比率はあざみ野四丁目（14.8%）、荇子田一丁目（15.1%）、荇子田三丁目（14.1%）、大場町（13.6%）、みすずが丘（14.8%）等、まとめて新しい住宅の建築がある地域では、区平均（13.4%）と比べ高くなっています。一方で、高齢化率は、あざみ野二丁目（23.3%）、三丁目（30.4%）、元石川町（22.7%）、大場町（20.9%）と、青葉区（20.9%）に比べ高くなっている地域が多くあります。（「横浜市統計ポータルサイト」より人口データを基に算出。平成 30 年 3 月現在）

また、地域の課題としては

ア. ここ数年、認知症に関しての相談の件数が増えており、認知症に関する知識の普及啓発や地域ぐるみで認知症の方を支える仕組みづくりの必要性が高まっていることから、認知症カフェ『カフェかやのき』を立ち上げました。このカフェを立ち上げるにあたって、今まで声をかけることができなかった認知症サポーターと一緒に行動することができました。新しい担い手づくりにつながりました。

イ. 自主事業への参加率は女性の方が高い傾向にあります。また、定年退職される男性が地域で増えてきています。そうしたことから男性が参加できたり、活躍できる事業と場づくりが求められていることから、男性が参加しやすい一芸講座バルーンアート教室の実施ならびに男性の地域デビュー支援団体ボーイズクラブの様々なイベント企画の支援をしてきました。

ウ. 健康作りやボランティア活動が盛んな地域ですが、活動団体間の交流や活動情報が地域の方に行き届いていないことが課題となっていることから、健幸笑てんの総会にて『健幸笑てんのつどい～あざみ野の魅力再発見』を実施し、地域の活動団体間の交流やその団体の活動情報が地域に届く機会を提供してきました。

エ. 子育て世代が多く、より身近な地域で子育て中の保護者が交流したり、情報交換や育児の悩みを相談できるような様々な場所があることが求められている中で、子育て広場や幼児安全法等子育て中の方が参加できる事業を企画し、参加者同士がコミュニケーションをとる機会を提供してきました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

【高齢】

高齢者が住みなれた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことが出来るよう、地域活動交流と地域包括支援センターが連携し様々な相談をお受けしました。

本人のみならず家族や地域の状況等も踏まえ、必要に応じて訪問を行い、的確な状況把握に努めるとともに、適切な機関、制度、サービスに繋げました。

【子ども】

地域の子育て支援に関する情報収集に努め、お問い合わせに対して必要な情報発信ができるように努めました。

地域の主任児童委員と連携して取り組めるよう良好な関係性の構築に努めました。相談内容によっては必要に応じて区役所やラフルールなど関係機関を紹介しました。

【障害】

地域の関係機関との連携強化に努め、相談内容に応じて必要な情報発信ができるよう心がけました。

相談内容によっては必要に応じて関係機関を紹介しました。

(3) 各事業の連携

地域活動交流・生活支援コーディネーター・地域包括支援センターが協力して、事業に取り組みました。また、地域活動交流事業の参加者で、気になる方には、地域包括支援センターを紹介する、地域包括支援センターに相談があった方で、介護保険ではなく、地域活動交流事業への参加が適当と思われる方には、地域活動交流事業を紹介する等、互いに情報発信を心がけました。

また、地域活動交流事業で、高齢者を対象とする際には、適宜、地域包括支援センターからの情報発信の機会を作るなど、情報発信に協力しました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

それぞれの事業ごとに、必要な資格要件を満たした職員を人員配置基準に従って適正に配置しました。状況に応じて人員配置基準以上の職員を配置しています。

また、それぞれの専門分野における研修の受講や同職種間での勉強会（法人内20ヶアプラザ合同）を実施しました。職員同士が連携、協力し事業や業務に取り組むことで相互に育成し合える職員体制の構築に努めました。

また、ケアプラザは公の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたりました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域関係団体との連携を実現するために地区民生委員児童委員の定例会など地域の定期的な会合へ地域包括支援センター職員と地域活動交流職員が参加し情報交換・共有を図りました。

また、地域福祉保健計画推進会議のメンバーの一員として、地域の関係機関との連携に努めました。

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を目指す「健幸笑てん」について、運営がスムーズに行えるようサポートに努めました。

地域ケア会議等を通じて地域包括ケアシステムの構築を行いました。

(6) 区行政との協働

青葉区地域福祉保健計画に基づき、区や地域福祉保健計画推進会議のメンバー、青葉区社会福祉協議会等と連携してよりよい地域づくりを目指しました。

区役所の地区担当と連携して、総合相談の支援や定例カンファレンス、介護者のつどい等の企画、実施について取り組みました。また、虐待や支援が困難なケース等についても適宜、区役所と連携して支援を行いました。

区役所と協働で医療と介護の連携に取り組みました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域包括支援センターと共催で介護予防事業、具体的には、「健身操」「元気になる体操」「スクエアステップ」等を実施し、参加者から好評を得ました。

子育て支援では、現在、参加者が少なくなっている「子育てひろば（事業名：さくらんぼひろば）」について、区の保健師とも相談しながら、参加者が増えるようイベントなども取り入れて開催しました。参加者数は前年度比で約 1.6 倍に伸びています。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ケアプラザ利用登録団体に対しては積極的にボランティア活動が出来る場の紹介を行いました。

ケアプラザの立地条件から日曜・夜間の利用者は少ない状態ですが、より利用しやすい施設とするため、利用者の少ない休日・夜間については、車での来館についての規制を緩和し、車での来館を可能な限り認めるようにしました。日曜・夜間について、より気軽に利用して頂けるよう引き続き周知しました。（平日昼間については駐車スペースの関係から 1 貸室ごと 1 台の駐車可としています。）

地域の方が来館され、情報を求められた際には、各団体についての情報を積極的にお知らせするように努めました。館内の掲示板を地域団体に開放し、依頼があった場合にはチラシを掲示しました。また、登録団体用のチラシラックを用意し、登録団体が来館者に向けて情報発信できるようにしました。

その他、年 1 回ボランティア交流会を開催し、登録団体やデイボランティア等の横の繋がりができるように取り組みました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

生活支援コーディネーターと協働で、「バルーンアート教室」を実施し、共通の趣味・関心事を通して、自身も楽しみながら地域貢献ができる仕組み作りを行いました。具体的には、バルーンアートなどを学び、近隣の保育園等やお祭りなどで披露したり、作品をプレゼントするなど、活動を通して地域との繋がりを作りました。

また、3 年前に立ち上がった「ボーイズクラブ」では、地域の方、特に男性が、地域の様々な団体と出会えるきっかけづくりを行うことを目的として、様々な地域イベントを行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

社会資源の状況や地域のニーズを把握するために、地域の関係団体の会合への参加、ケアプラザ利用団体の方や事業参加者へのアンケートの実施等情報収集に努めました。

広報誌を月1回発行し積極的にケアプラザのPRや各種情報を提供すると共に各種チラシを作成し、よりわかり易い情報を提供しました。

チラシについては、子育て支援事業については、ラフールや子ども家庭支援課に定期的に発送し情報発信への協力を依頼しました。

ホームページの継続的な更新を行うとともに、あおばみん等も活用して情報発信を行いました。様々なツールから地域の方が情報をキャッチできるよう多様な情報発信に努めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

日常生活に関わる課題に対して、生活支援コーディネーターが中心となって5職種で連携・協働し、支えあえる地域づくりの支援に努めました。又、多職種それぞれの立場で地域と関わる中で得たニーズや地域情報などの共有を図りました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

ア. 顔の見える関係作りの構築と社会資源の把握の為、地域で行われている活動（サロン等）に参加し地域情報の収集を行いました。又、民間企業を訪問し高齢者を対象とした取組みの把握に努めました。

イ. ケアプラザが得た情報（ケアプラザ事業の参加者状況・総合相談内容・地域ケア会議等）の分析を行い、個別課題・エリア課題の把握に努めました。

ウ. サービス事業者と連携して、ニーズの把握に努めました。

(3) 連携・協議の場

ア. 『カフェかやのき（認知症カフェ）』の取り組み。

『カフェかやのき』立ち上げに向けて、5職種・キャラバンメイト・有志の認知症サポーター・地域住民と一緒に協議の場を設け、H30年2月1日に第1回を開催しました。2回目以降は、毎月第一木曜日に開催しています。

イ. 健幸笑てんの取り組み

ボランティアを中心に、ネットワークづくりに向けた協議（役員会）を隔月で実施しました。29年度は、総会として『健幸笑てんのつどい～あざみ野の魅力再発見』というテーマで地域で活動している団体の紹介を行いました。その結果、身近で活動している団体同士の交流機会が少ないこと、また、活動を知らない地域住民が多いことを把握することができました。H30年度は、活動団体・地域住民のネットワークづくりの支援を計画することとなりました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

ア. 地域ケア会議

地域ケア会議に参加し、個別課題やエリア課題の把握に努めました。

イ. 単一自治会エリアでの地域分析のなかで共通した課題に対しては、エリアの隣接するケアプラザ・区社協・地区社協・民間企業等と連携し、情報共有を図りながら解決に向けて取り組みました。

ウ. 生活圏域が重なる4ケアプラザ（大場・美しが丘・すすき野・たまプラーザ）で情報収集・共有をはかりました。

エ. 山内地区・中里地区での定例会（地域福祉計画会議・民生委員・児童委員協議会等）に参加し、情報収集・共有をはかりました。山内地区では、地区社協と連携したイベント（みんなで脳活レク）の検討を図り、30年度に実施することになりました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

ア. エリア内にある自治会や民生委員、ボランティア、福祉および医療機関、行政等と協力して、地域の課題について協働して検討していけるよう、積極的に地域の行事や専門職会議に参加し、ネットワークの構築に努めました。

イ. 「健幸笑てん」の取り組みを通して、地域住民が主体となって活動している団体同士がネットワークを構築し情報共有できる場を作りました。またホームページなどを活かし地域の見守りに関する情報を地域に向けて発信しました。

② 実態把握

ア. 月に1回、担当エリア内3か所の民生委員児童委員協議会の定例会に参加し、顔の見える関係作りに努めました。また、エリア内の民生委員と直接話し合いをする場を設け、情報共有及び収集を行い地域課題等の把握に努めました。

イ. 地域の老人会や食事会、ミニデイや体操教室、介護者の集まり等に積極的に参加し、情報収集及び提供を行いました。

ウ. 個別ケース及び地域について必要に応じて訪問を行い、本人や家族、近隣住民等から情報収集を行いました。

エ. 相談後に介護保険のサービスに繋がらない方々には個別に訪問し個々の状況を継続して把握することに努めました。

オ. 年に1回利用者アンケートを行い情報収集を行いました。

③ 総合相談支援

ア. 住み慣れた地域でその人らしく安心して生活の継続ができるよう、本人、家族、近隣住民、民生委員などから様々な相談を受けました。相談を受けた際には的確な状況把握に努め、適切な情報提供や支援を行うと共に必要に応じて緊急対応を行いました。

イ. 地域包括支援センターが身近な相談窓口であることを、ケアプラザの掲示板・広報紙・ホームページ、また、職員が地域の関係団体の会合や行事等に積極的に参加するなどして周知しました。

ウ. 電話や来所以外にも、職員が相談者宅に訪問し相談できることを周知しました。対応は迅速かつ柔軟、丁寧に行い、心配な事があれば引き続きいつでも相談できることを伝えました。

- エ. 連絡待ち等で支援が中断している方へも状況に応じて連絡を入れることで状況を把握し、継続的な支援を提供しました。
- オ. 当事者や相談者と信頼関係及び気軽に相談できる関係性を構築すると共に、必要なモニタリングを行いました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ア. 地域の方々がその人らしく暮らせるよう、適切な制度（成年後見制度や日常生活自立支援事業等）に繋げるとともに、制度の普及啓発を行いました。
- イ. 地域の方に成年後見制度や消費者保護に関する情報を講座や地域の活動等を通して提供しました。
- ウ. 地域の行事や、青葉区が作成したエンディングノートを活用し、成年後見制度、消費者被害や虐待について説明を行い、地域で気になる事があれば地域包括支援センター等へ連絡して欲しいことを伝え、早期対応ができるよう努めました。
- エ. 自分から援助を求められない方を相談内容や実態把握の中から発見してアプローチを行い、本人の意思を尊重しながら支援を行いました。

② 高齢者虐待への対応

- ア. 虐待が疑われる事例を把握した場合は迅速に区役所に報告し、必要に応じてカンファレンスの実施や訪問をして、状況に即した適切な対応を区役所と連携して行いました。
- イ. 毎月のケアマネジャー向け定例カンファレンス等で虐待のケースについての話し合いや情報収集を行い、地域住民や民生委員、医療機関や在宅サービス事業者等と連携を深めるなどして早期発見に努めました。
- ウ. ケアマネジャーが担当している虐待のおそれのあるケースについては同行訪問して状況確認をし、区と連携して支援を行いました。
- エ. 「介護者のつどい」を年 10 回開催し、介護者支援を行うことで虐待予防に繋がりました。

③ 認知症

- ア. 「認知症サポーター養成講座」をケアプラザや地域にて、7 回開催しました。認知症の方やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を多数養成することができ、また 2 月からはサポーターと協力して認知症カフェ「カフェかやのき」の立ち上げに至り、毎月 1 回の定期開催へと繋がっています。
- イ. 「介護者のつどい」を年 10 回開催し、介護者や介護を経験した方同士が交流できる場を設け、認知症の方への対応や介護方法などの情報交換等を行い介護者支援を行いました。8 月には男性を対象にした「介護者の集い」を開催し、5 名の参加がありました。
- ウ. 認知症支援について民生委員、地域住民、医療機関、在宅サービス事業者等との連携に努めました。
- エ. 地域内 2 ヶ所のグループホーム、4 ヶ所の地域密着型デイサービスの運営推進会議に出席し施設と地域を繋げるよう努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. エリア内3地区の民生委員児童委員協議会に情報提供と顔の見える関係を継続するために、地域包括支援センターと地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが協力して毎月訪問しました。
- イ. 地域の問題を一緒に考えていく機会として民生委員や関係者と話し合いの場を設けました。
- ウ. ケアマネジャーと民生委員との連携を、8月に区内の他包括と合同で行い、お互いの更なる職種理解と相談し合える関係づくりとなるようにしました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ア. 区役所と医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護職と顔の見える場づくりを行う連絡会（月に1回）に参加しました。
- イ. 包括カンファレンスにおいて、医師、訪問看護師、薬剤師を招いてケアマネジャーの医療の知識の向上に繋げ、連携を図りました。
- ウ. 青葉区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問看護、訪問介護、通所介護、施設）の顔の見える関係、相談し合える関係づくりのための「ねっとわーく青葉」に参加しました。全体会（9月）、エリア別（2月）の開催をしました。

③ ケアマネジャー支援

- ア. 毎月エリア内の居宅介護支援事業所(6か所)の訪問を行い、ケースの相談や情報提供を行いました。
- イ. 月1回、包括カンファレンスを行い、勉強会や意見交換会などを通して、ケアマネジャーのスキルアップに繋げ、相談しやすい関係づくりに努めました。
- エ. 区内のケアマネジャーの勉強会に、区内地域包括支援センターとして順番で月1回参加し、支援しました。
- オ. 新人研修として年2回、区役所で募集を行いました。個別の研修や合同での研修で新人同士の連携ができるよう工夫し、個別実習として後期に一人担当をしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ア. 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターが協働で取り組んでいる「健幸笑てん」について今年度も連携して取り組みました。
- イ. 自主事業において、特に高齢者支援事業においては地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターと共催で実施し、地域課題の共有と課題解決に向けた取組を協働で行いました。
- ウ. ケアプラザが力を入れて取り組んでいる認知症啓発活動については、地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが協働して認知症サポーター養成講座等に取り組みました。今年度はあざみ野第2小学校等で8回開催しました。
- エ. 地域ケア会議は、地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと協働で開催し、地域の多職種の方々と課題の把握・解決やネットワーク構築に向けて検討しました。
- オ. 毎月定期的に地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターと地域包括支援センターの合同会議を開催し、相互の情報共有や自主事業などの取組について検討や調整、計画を行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ア. 住み慣れた地域で安心して自分らしく自立した生活を継続できるように、適切なケアマネジメントを提供しました。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め、同行訪問やサービス担当者会議に出席しました。
- ウ. ケアマネジャー対象の介護予防従事者研修を区と協力して行いました。また、総合事業の説明を行い理解と協力をお願いしました。
- エ. 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用し、介護予防・健康予防に取り組みようケアプランを作成、支援しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ア. ロコモティブシンドローム予防や認知症予防運動、口腔ケア、栄養改善等について2コース（4回シリーズ）の介護予防講座を行いました。地域の方が参加しやすいあざみ野駅近くのサービス付高齢者住宅や介護付有料ホームに出張して行いました。ケアプラザから遠い地域の方の参加があり、講座終了後も引き続き体操を行いたいとの要望があり体操教室が立ち上がりました。介護予防普及啓発に努めました。
- イ. 地域活動交流・生活支援コーディネーターと協力し、地域の高齢者がいつまでも元気であるための取組みとして、年に2回体力測定会と体力測定結果説明会を行いました。結果説明会では測定結果のみではなく、ミニ講座として介護予防の大切さ（運動・栄養・口腔ケア・社会的役割）について説明、ご自身の体力を知ることで健康管理の目安にし、体力の維持・向上を目指していただきました。アンケートではモチベーションの維持につながるのご意見をいただきました。
- ウ. 地域の方から要望があったノルディックウォーキング教室を生活支援コーディネーターと協力し、ノルディックウォーキングの経験のある地域の方を中心に月1回定期的に行いました。膝や腰が痛い方も2本のポールを利用することで楽に歩くことができることで、仲間と共に介護予防に取り組み健康づくりを行う機会を増やしました。
- エ. 身近な場所で、健康づくり・仲間づくりができるサロンや元気づくりステーション等の新たな立ち上げをめざし、地域の方中心の体操教室が2か所立ち上がりました。保健活動推進委員や民生委員、地域のボランティアグループと連携し、サロンや食事会の活動支援をしました。
- オ. 高齢者自らが介護予防に取り組み地域の高齢者の健康づくりを担うGOGO健康サポーターを新たに育成しました。すでに活動されているサポーターと共に体力チェックやロコチェックを行いました。
- カ. 元気なうちから介護予防を行う大切さを伝えるために、老人会やお食事会、サロン等地域の集まりに出かけ普及啓発を行う出前講座を行いました。個別相談の機会に繋げました。

5 その他

- ア.今年度も多角的な視点で当事者・家族・地域を支援できるよう、地域ケア会議を開催し、地域の関係団体等と地域課題の共有や協力体制の構築を図りながら地域の方が住み慣れた町で安心・安全に暮らせるまちづくりを目指しました。
- イ.介護予防を目的に日本体育大学と共催で「はつらつ体力チェック」を年2回実施し地域の介護予防に繋げました。
- ウ.介護予防事業等について、地域の方が支援者（ボランティア）として参加できるよう講座等を開催し人材の育成に取り組みました。
- エ.地域の方と顔がみえる関係が構築できるようケアプラザ内に常時、交流ラウンジやプレイルームを設置し、交流を図ると共に必要な情報提供や支援を行いました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

地域の様々な方が快適・安全に利用できるように、施設・設備の管理・保守を行いました。具体的には、設備総合巡視、空調設備、消防設備、自家用電気工作物等の定期的な保守点検、定期清掃や日常清掃、衛生管理、緑化管理、不具合の対応等を専門の委託業者と契約し適切に管理しました。

また、緑化管理については、年1回の植栽管理にとどまらず、お客様が快適に過ごせるような庭づくり、環境整備に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

指定管理の運営が適切に、且つ、効率的に運営できるように法人関係部署、各担当が連携して取り組みました。

市内中小企業優先を踏まえつつ、経費削減にむけ、法人本部と連携し、建物管理・保守、清掃等の委託業者の選定では電子入札等を実施しました。また、法人のスケールメリットを活用し、法人内の他の施設と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行いました。

(3) 苦情受付体制について

法人の苦情解決規則に基づき、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置して、お客様からのご意見・ご要望・苦情など様々な声に対応するとともに再発防止や改善に努めました。

法人内で月1回サービス向上委員会を設置し、同一法人内の他の施設でいただいた、ご意見・ご要望も共有し全体で学びました。

また、法人において公正・中立の立場から斡旋・調整を行う第三者委員を設置し適切な苦情解決に向けて取り組みました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時に備えて、各種対応マニュアル・BCP（サービス提供継続計画）を整備しています。年2回以上防災訓練を実施し、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則り適切な対応がとれるよう災害時の備えを行いました。

また、横浜市から特別避難場所（福祉避難場所）としての指定を受けており、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担いました。

防犯対策としては、警備会社と委託契約を結び、適宜対応ができる体制を整えました。

(5) 事故防止への取組について

事故発生の際は、再発防止に向けて迅速に原因の究明・分析、対応策を検討し、報告書を作成し、区役所及び法人本部に報告しました。また、ミーティングや全体会議で事例を報告すると共に、事故防止策について職員全員に周知を徹底しました。さらに日常の業務においては、「ヒヤリ・ハット」報告の徹底とその後の共有化にて原因の究明および改善点の検討を行うなど、事故を未然に防ぐように努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いには具体的な取り扱いとマニュアルを定め、全職員に徹底して保護に努めました。

具体的な対策は以下のとおりです。

- ア. 契約書、個人ファイルなどは施錠できるロッカーなどで保管し、個人情報を携帯する場合には紛失や情報漏えいのないようダブルチェックで確認後、最小限の情報のみを携帯するようにします。
- イ. FAX及び郵送物の誤送付や通所介護における誤配付がないよう、ダブルチェック等を行い、細心の注意を払います。
- ウ. 広報誌等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず書面、または、口頭で了解を得てから実施します。
- エ. 個人情報保護の重要性に関しては、研修や日々のミーティングなどを通して職員へ周知していくと共に、個人情報の取り扱いについて細心の注意を払うよう繰り返し意識啓発を行います。

(7) 情報公開への取組について

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人では情報公開規程を定めています。

公開している情報としては、法人の概要、サービス内容、財務状況、事業計画、事業報告等です。

また、情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

法人やケアプラザで人権に関する研修を定期的で開催し、職員が人権を尊重した対応ができるよう取り組みました。虐待等の相談があった時には、区役所と共同で支援にあたると共に、必要に応じて関係機関と連携して支援を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持の為に、節電・節水をこまめに行ったり、コピー用紙の裏面使用を励行するとともに、資源ごみの分別収集に協力しました。

植栽の管理等の環境保全の実施、夏季軽装での執務（クールビズ）・冬季の保温対策（ウォームビズ）に取り組むなど適正な冷暖房の使用に努めるとともに、不要な照明の消灯や使用していない事務用機器の電源を落とすなど環境保全や地球温暖化防止への取組も引き続き実施します。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師担当看護師 1名
社会福祉士 1名
主任ケアマネジャー 1名
介護予防プランナー 1名（非常勤）

《目標に対する成果等》

- ア. 住み慣れた地域で安心して自分らしく自立した生活を継続できるように、適切なケアマネジメントを提供しました。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め、同行訪問やサービス担当者会議に出席しました。
- ウ. ケアマネジャー対象の介護予防従事者研修を区と協力して行いました。また、総合事業の説明を行い、理解と協力をお願いしました。
- エ. 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用し、介護予防・健康予防に取り組めるようケアプランを作成、支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご本人が望む自立した生活ができ、要介護状態にならないようにケアマネジメントを行いました。介護保険サービス等のフォーマルサービスだけでなく、ご本人のニーズに合った地域活動等のインフォーマルサービスのご案内等を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
157	161	162	164	158	167
10月	11月	12月	1月	2月	3月
167	168	172	162	159	157

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務） 1名（常勤兼務）
 主任介護支援専門員 1名（常勤専従）
 介護支援専門員 2名（常勤専従）

《目標に対する成果等》

- ア. 特定事業所として質の高い適正な福祉サービス及び保健医療サービスが適正に提供されるよう公正・中立な立場で居宅サービス計画を作成しました。
- イ. 関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・インフォーマルサービスを提供しているボランティア団体等との綿密な連携にてサービスの調整を実施しました。
- ウ. 居宅サービス計画は、利用者自身の意見を反映すると共に心身の状況や環境条件等に応じて利用者が自立した日常生活を営む事を目標に作成しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 公共交通機関の運賃分（明細書等を作成し提示します。）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 特定事業所として質の高いケアマネジメントを提供しました。
- イ. 関係機関や地域と連携して地域包括ケアの実現に努めました。
- ウ. 介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れ行い、人財育成に努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
96	96	94	92	94	91
10月	11月	12月	1月	2月	3月
94	90	92	92	92	91

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- ア. お客様の心身の特性をふまえ、身体状況に応じて入浴・食事・排泄などの介護が必要な方へのお声かけやお手伝いをします。
- イ. (個別)機能訓練や口腔器機能向上等を希望される方には実施計画等に基づき サービスを実施いたします。
- ウ. 在宅生活を継続できる事を目標に自分でやってみたい事などに積極的に取り組めるよう各種活動の提供・提案を通して可能性を広げるための支援と環境づくりを行います。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

(要介護1)	704円
(要介護2)	831円
(要介護3)	963円
(要介護4)	1095円
(要介護5)	1227円

イ. 食費負担 650円

※介護職員処遇改善加算（Ⅰ） 加算率5.9%が加算されます。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 7名
介護職員 29名 機能訓練指導員 7名

《目標に対する成果等》

- ア. お客様一人ひとりがご自分の能力や意欲をできる限り発揮でき、その人らしい生活を送れるように自己選択・自己決定を大切に取り組みました。
- イ. 自らの力で「できる」喜びを大切に、自信を持って生活していただけるよう支援を行ないました。
- ウ. お客様同士が自然に助け合い社会性を育んでいける環境を提供しました。
- エ. 認知症のお客様に対する取組を強化しました。研修等を通して認知症に対しての理解や知識を深めました。認知症のお客様が安心して過せるようお客様に寄り添い専門性を持って対応しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. お茶・コーヒー・紅茶等自由に飲みたい時に飲めるように配慮しました。
- イ. 各種イベント（運動会・秋祭り）や野菜作り・ガーデニング・手芸・料理・マージャン・囲碁・将棋・合奏等々、お客様が生き生きと参加いただける様々なプログラム提供しました。
- ウ. ご本人の希望を重視し、季節に合わせた制作物等の作成を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
712	756	733	678	707	696
10月	11月	12月	1月	2月	3月
650	637	573	543	510	649

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ア. 認知症の症状に合わせた個別対応を心がけます。
- イ. それぞれのお客様の課題解決を目指した機能訓練を実施します。
- ウ. ご家族と連携しながら在宅生活を継続できるよう支援します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

（要介護1）	1072円
（要介護2）	1188円
（要介護3）	1305円
（要介護4）	1422円
（要介護5）	1539円

イ. 食費負担 650円

※介護職員処遇改善加算（Ⅰ）加算率10.4%が加算されます。

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30～16：35

《職員体制》管理者 1名 生活相談員 4名 看護職員 7名
介護職員 29名 機能訓練指導員 7名

《目標に対する成果等》

- ア. 一人ひとりのお客様が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めました。
- イ. その人らしさが発揮できるようなプログラムの提供を行いました。
- ウ. 認知症の進行が緩やかになるよう心身に対する機能訓練を実施しました。
- エ. 当事者のみならずご家族に対しての介護相談などを行い、出来る限り在宅生活が続けられよう支援しました。
- オ. 研修を通して認知症に対しての理解や知識を深めました。認知症のお客様が安心して過ごせるようお客様に寄り添い専門性を持って対応しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 音楽療法などオリジナルのプログラムを提供しました。
- イ. 職員の配置を手厚くすることで個々の状態に合わせた対応を行いました。
- ウ. 戸外における歩行訓練など実践的な機能訓練を取り入れました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
210	226	244	241	217	206
10月	11月	12月	1月	2月	3月
203	203	190	157	112	147

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ア. 要介護状態にならない様に筋力強化と共に日常生活での転倒予防と生活意欲と生活活目標が持てるよう支援を行います。
- イ. 趣味や興味を引き出し、積極的に社会交流が出来るよう支援します。
- ウ. 地域包括支援センターと連携をはかり総合的なサポートを実施いたします。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

- (要支援1) 1766円
- (要支援2) 3621円
- 運動器機能向上加算 242円
- 介護職員処遇改善加算（Ⅰ） 加算率5.9%が加算されます。

イ. 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》 通所介護事業同様 : 一体型

《目標に対する成果等》

- ア. 要支援状態改善に向けた筋力の向上と生活に即した生活リハビリに重点を置き自立を目指した支援を行いました。
- イ. 地域での交流や地域の一員としての生活意欲を発揮できるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 自主性を大切にして自己選択・自己決定の風潮を大切にしたサービス提供を行いました。
- イ. 他の人との交流や思いやりの気持ちを大切に育てるよう、大勢の方との交流や場づくりに努めました。
- ウ. 自らの可能性を広げ新たな挑戦を行える環境づくりを行いました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
46	50	46	44	52	40
10月	11月	12月	1月	2月	3月
37	36	39	37	32	39

平成29年度「横浜市中区大塚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,473,000	△ 138,066	14,334,934	14,334,934	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	700,450	△ 700,450	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	53,434	△ 53,434	
印刷代	0		0	3,030	△ 3,030	
自動販売機手数料	0		0	41,861	△ 41,861	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	8,543	△ 8,543	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,591,161		2,591,161	2,591,161	0	
収入合計	21,054,161	△ 138,066	20,916,095	21,669,979	△ 753,884	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	12,966,577	△ 981,150	
本俸	7,905,167		7,905,167	8,773,099	△ 867,932	
社会保険料	1,263,145		1,263,145	1,217,933	45,212	
手当計	2,570,017		2,570,017	2,744,501	△ 174,484	
健康診断費	65,635		65,635	45,726	19,909	
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250	0	8,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	173,213		173,213	172,438	775	
その他			0	12,880	△ 12,880	
事務費	1,055,000	0	1,055,000	1,495,901	△ 440,901	
旅費	15,000		15,000	26,543	△ 11,543	
消耗品費	170,000		170,000	159,185	10,815	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	120,000		120,000	112,810	7,190	
通信費	250,000		250,000	278,354	△ 28,354	
使用料及び賃借料	0	0	0	100	△ 100	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他	0		0	100	△ 100	
備品購入費			0	232,226	△ 232,226	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	61,000		61,000	50,285	10,715	
職員等研修費	4,000		4,000	5,581	△ 1,581	
振込手数料	33,000		33,000	34,571	△ 1,571	
リース料	97,000		97,000	46,545	50,455	
手数料	175,000		175,000	367,923	△ 192,923	
地域協力費	113,000		113,000	107,777	5,223	
その他	17,000		17,000	74,001	△ 57,001	
事業費	1,912,000	0	1,912,000	1,003,339	908,661	
運営協議会経費	42,000		42,000	8,190	33,810	予算-指定額
指定管理料充当 事業	1,870,000		1,870,000	995,149	874,851	
管理費	5,142,900	0	5,142,900	4,579,582	2,756,680	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	1,810,700	0	1,810,700	2,193,362	1,810,700	
電気料金	500,000		500,000		500,000	
ガス料金	500,000		500,000		500,000	
水道料金	810,700		810,700		810,700	
清掃費	1,935,500		1,935,500	1,206,923	728,577	
修繕費	474,000	0	474,000	335,934	138,066	予算-指定額
機械整備費	122,000		122,000	122,555	△ 555	
設備保全費	705,600	0	705,600	545,999	159,601	
空調衛生設備保守	406,000		406,000	435,230	△ 29,230	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	70,100		70,100	70,953	△ 853	
害虫駆除清掃保守	39,800		39,800	39,816	△ 16	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	189,700		189,700	0	189,700	
雑費			0	0	0	
その他	95,100		95,100	174,809	△ 79,709	
公租公課	958,834	0	958,834	1,037,326	△ 78,492	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	1,037,326	△ 78,492	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一三対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	21,054,161	0	21,054,161	21,082,725	2,164,798	
差引	0	△ 138,066	△ 138,066	587,254	△ 2,918,682	

自主事業費収入	1,870,000		1,870,000	0	1,870,000	予算-指定管理料に含む
自主事業費支出	1,870,000		1,870,000	995,149	874,851	
自主事業収支	0	0	0	△ 995,149	995,149	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	41,861	△ 41,861	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	41,861	△ 41,861	

平成29年度「横浜市大場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,527,920	△ 162,706	23,365,214	23,365,214	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 179,947	5,609,053	5,609,053	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	244,690	△ 244,690	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	750	△ 750	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	96,282	△ 96,282	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	64,000	△ 64,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	64,000	△ 64,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,780,393		1,780,393	1,780,393	0	
収入合計	31,248,313	△ 342,653	30,905,660	31,311,382	△ 405,722	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	28,635,771	△ 1,159,478	
本俸	17,305,880		17,305,880	15,105,648	2,200,232	
社会保険料	3,288,241		3,288,241	3,659,754	△ 371,513	
手当計	6,286,746		6,286,746	9,183,576	△ 2,896,830	
健康診断費	42,431		42,431	72,624	△ 30,193	
勤労者福祉共済掛金	24,975		24,975	0	24,975	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	528,020		528,020	584,063	△ 56,043	
その他			0	30,106	△ 30,106	
事務費	320,000	0	320,000	1,245,490	△ 925,490	
旅費	10,000		10,000	23,932	△ 13,932	
消耗品費	10,000		10,000	51,726	△ 41,726	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	112,810	△ 62,810	
通信費	70,000		70,000	280,824	△ 210,824	
使用料及び賃借料	0	0	0	700	△ 700	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	700	△ 700	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	82,499	△ 32,499	
職員等研修費	10,000		10,000	29,241	△ 19,241	
振込手数料	10,000		10,000	34,571	△ 24,571	
リース料	50,000		50,000	46,545	3,455	
手数料	50,000		50,000	236,474	△ 186,474	
地域協力費	10,000		10,000	21,552	△ 11,552	
その他			0	324,616	△ 324,616	
事業費	1,905,000	0	1,905,000	1,109,853	795,147	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	815,000		815,000	250,130	564,870	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	148,376	2,624	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	207,347	101,653	予算:指定額
管理費	1,367,100	0	1,367,100	1,217,347	149,753	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	610,000	0	610,000	583,045	26,955	
電気料金	170,000		170,000	170,000	0	
ガス料金	170,000		170,000	170,000	0	
水道料金	270,000		270,000	270,000	0	
清掃費	354,000		354,000	320,827	33,173	
修繕費	126,000		126,000	89,294	36,706	予算:指定額
機械警備費	32,000		32,000	32,577	△ 577	
設備保全費	179,400	0	179,400	145,137	34,263	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	115,693	△ 15,693	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	18,800		18,800	18,860	△ 60	
害虫駆除清掃保守	10,500		10,500	10,584	△ 84	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	50,100		50,100	0	50,100	
共益費			0	0	0	
その他	65,700		65,700	46,467	19,233	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	31,068,393	0	31,068,393	32,208,461	△ 1,139,068	
差引	179,920	△ 342,653	△ 162,733	△ 897,079	151,301	

自主事業費収入	1,275,000			341,722		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,275,000			605,853		
自主事業収支	0			△ 264,131		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市大場地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
健身操	60歳以上で介護保険未利用	125,400	地活	0	125,400	0	117,040	0	8,360
	434人		包括	0					
	300円		生活	0					
元気が出る体操	概ね60歳以上	256,980	地活	3,120	125,370	0	0	122,800	5,690
	633人		包括	3,120					
	420円		生活	0					
オアシス游	70歳以上で介護保険未利用	153,053	地活	30,053	123,000	0	3,341	149,712	0
	244人		包括	0					
	600円		生活	0					
ボーイズクラブ	地域活動に関心のある方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	154人		包括	0					
	1,000円/年		生活	0					
葉書絵	65歳以上	6,779	地活	2,279	4,500	0	4,500	2,279	0
	10人		包括	0					
	500円		生活	0					
親子でクッキング	小学生と養育者	5,301	地活	1,301	0	4,000	0	4,741	560
	23人		包括	0					
	500円		生活	0					
WITHクリスマス会	未就園児と保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	90人		包括	0					
	0円		生活	0					
にこにこランド	H27年度生れの子と保護者	249,270	地活	49,240	200,030	0	233,730	0	15,540
	477人		包括	0					
	830円		生活	0					
ふれあいパークさくらんぼ	未就園児と保護者	227	地活	227	0	0	0	227	0
	227人		包括	0					
	0円		生活	0					
とっぴんぱらり	未就園児と保護者	36,000	地活	32,700	3,300	0	36,000	0	0
	79人		包括	0					
	100円		生活	0					
幼児安全法	テーマに関心のある方	6,000	地活	0	0	6,000	0	0	6,000
	15人		包括	0					
	0円		生活	0					
にこにこランドプレ	H28年度生れの子と保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人		包括	0					
	0円		生活	0					
小中学生 書初め	小中学生を中心にごなたでも	1,318	地活	118	1,200	0	0	1,318	0
	18人		包括	0					
	100円		生活	0					
ちゅーりっぷシアター (人形劇)	地域の方	4,000	地活	4,000	0	0	4,000	0	0
	73人		包括	0					
	0円		生活	0					
親あるうちの準備を考 える連続講座	テーマに関心のある方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	51人		包括	0					
	0円		生活	0					
面白科学で工作	小学生(低学年は保護者同伴)	32,000	地活	5,000	27,000	0	5,000	27,000	0
	40人		包括	0					
	1,000円		生活	0					
全館清掃	登録団体の方	13,952	地活	13,952	0	0	0	13,952	0
	31人		包括	0					
	0円		生活	0					

平成29年度 自主事業収支報告書

干支の折り紙	地域の方	3,228	地活	978	0	2,250	1,500	1,728	0
	12人		包括	0					
	250円		生活	0					
かやのき祭り	地域の方	82,290	地活	60,190	0	22,100	0	48,672	33,618
	443人		包括	0					
	0円		生活	0					
チューリップシアター (かやのき名画座)	地域の方	54,000	地活	54,000	0	0	0	0	54,000
	123人		包括	0					
	0円		生活	0					
納涼祭	地域の方	33,023	地活	3,123	19,500	10,400	0	26,178	6,845
	201人		包括	0					
	100円		生活	0					
かやのき土曜コンサート	地域の方	15,000	地活	1,700	13,300	0	15,000	0	0
	331人		包括	0					
	100円		生活	0					
ボランティア交流会	ボランティア	28,835	地活	18,835	0	0	0	18,835	0
	31人		包括	10,000					
	0円		生活	0					
みんなでハイキング	地域の方	3,438	地活	3,438	0	0	0	0	3,438
	71人		包括	0					
	0円		生活	0					
キッズフラワーアレンジメント	幼稚園～中学生	29,000	地活	3,000	26,000	0	20,196	8,804	0
	26人		包括	0					
	1,000円		生活	0					
銀のつどい	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
	2,033人		包括	0					
	1,100円		生活	0					
みんなで脳活レク	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
	31人		包括	0					
	0円		生活	0					
彩色水墨画	65歳以上	47,400	地活	300	46,200	900	33,002	14,398	0
	71人		包括	0					
	700円		生活	0					
コグニサイズで健脳	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
	17人		包括	0					
	0円		生活	0					
シニアボランティアポイント登録研修会	65歳以上の市民の方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	17人		包括	0					
	0円		生活	0					
中国結びで作るストラップ	地域の方	5,300	地活	2,000	3,300	0	2,000	3,300	0
	39人		包括	0					
	300円		生活	0					
歌声家族 in 大場	地域の方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	38人		包括	0					
	200円		生活	0					
環境絵日記展	地域の方	3,580	地活	3,580	0	0	0	0	3,580
	10人		包括	0					
	0円		生活	0					
人形劇3月特別講演	地域の方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	76人		包括	0					
	0円		生活	0					
あおばカノン2018	地域の方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	650人		包括	0					
	0円		生活	0					

平成29年度 自主事業収支報告書

認知症サポーター養成講座	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0	
	210人		包括							0
	0円		生活							
定例カンファレンス	エリア内ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0	
	320人		包括							0
	0円		生活							
新任ケアマネ研修	新任ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0	
	1名		包括							0
	0円		生活							
ねっとわーく青葉	区内5連絡会	0	地活	0	0	0	0	0	0	
	56人		包括							0
	0円		生活							
大人の芸講座 バルーンアート教室 体験	地域活動に関心のある方	34824	地活	30224	4600	6534	28290			
	23人		包括							
	200円		生活							
大人の芸講座 バルーンアート教室	地域活動に関心のある方	79296	地活	33672	45624	43578	29598	6120		
	9人		包括							
	500円		生活							
大人の芸講座 バルーンアート教室 追加講座	地域活動に関心のある方	46202	地活	16924	29278	36612	9590			
	9人		包括							
	700円		生活							
カフェかやのき	どなたでも	14828	地活	6228	8600		6868	7960		
	9人		包括							
	700円		生活							
介護者のつどい	介護者	0	地活	0	0	0	0	0	0	
	65人		包括							0
	0円		生活							
男性介護者のつどい	男性介護者	0	地活	0	0	0	0	0	0	
	5人		包括							0
	0円		生活							
			地活							
			包括							
			生活							
			地活							
			包括							
			生活							

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健身操	(目的) 地域の高齢者の介護予防・仲間作り。 (内容) 地域包括支援センターと共催で行う、椅子を使った体操教室。	第2・第4木曜日 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気になる体操	(目的) 介護予防事業の対象とならない元気な高齢者を対象とした、参加者自身の健康づくりと地域住民同士の交流とその場作り。 (内容) 地域在住の65歳以上の方を対象とした体操教室。	第1・3・4・5火曜日 38回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オアシス游	(目的) ①地域の高齢者の外出の機会の創出。 ②参加者同士の交流の促進。 ③ボランティア活動の活性化。 (内容) ボランティアによる概ね70歳以上を対象とした食事会。	偶数月の第1水曜日 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボーイズクラブ	(目的) 地域の主にリタイアした男性が地域活動に興味を持つきっかけを作る。 (内容) 地域の様々なグループの参加者による集まりで、地域の男性が地域活動と結びつくためのきっかけとなるようなイベントの企画や情報発信を行う。	定例会： 毎月第4木曜日 12回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
葉書絵	<p>(目的) 高齢者の交流機会の創出とケアプラザの広報をはかる。</p> <p>(内容) 高齢者支援。交流事業の一環として、高齢者を対象とした絵手紙による年賀状作り講座を行う。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でクッキング	<p>(目的) ①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る。 ②ボランティアと小学生の世代間交流の促進。</p> <p>(内容) 親子でできる簡単料理教室。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
WITHクリスマス会	<p>(目的) ①近隣にある常設の子育て広場の周知の機会を持つ。 ②子育て支援を行う機関として相互に交流の機会を持つ。</p> <p>(内容) 未就園児と保護者を対象とした親と子のつどいの広場WITH企画によるクリスマスイベント。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこランド	<p>(目的) ①親子の交流と保護者同士の仲間作りなどを通して地域との関わりを作る。 ②親子の閉じこもり防止。</p> <p>(内容) 平成29年4月～平成30年3月の間に2歳になる子と保護者を対象とした幼児リトミック</p>	前期：4月～7月 後期：9月～12月 毎週木曜日 ※第1除く 21回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいパーク さくらんぼ	(目的) ①地域の子育て中の親子の居場所づくり。 ②同世代の子同士、親同士の交流の機会を持つ。 (内容) 未就園児と保護者を対象とした、玩具などで遊べるフリースペース。	毎月第1木曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とっぴんぱらり	(目的) ①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止。 ②地域の親子の交流の促進。 (内容) 未就園児と保護者を対象としたわらべ歌や手遊びを学べる講座。	毎月第2金曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼児安全法	(目的) ①近隣にある常設の子育て広場のスタッフのスキルアップ ②緊急時の対応を知ることによって保護者の育児不安を和らげる (内容) 日赤の幼児安全法指導員による幼児安全法講座。	3月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこランド プレ	(目的) 体験を通して、対象の保護者に事業の趣旨を知っていただく機会を作る。 (内容) 次年度開催予定のにこにこランドの体験会。	3月 1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小中学生 書初 め	(目的) 年の初め	1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷシ アター (人形劇)	(目的) 親子の交流とケアプラザの広報。 (内容) ボランティアグループ「座♪とんとん」による親子を対象とした人形劇公演。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親あるうちの準備を 考える連続講座	(目的) 障がいのある方の親御さんや、テーマに関心のある方に親亡き後に向けてできる準備について知っていただき、障がいのある方が将来も安心して地域生活が営めるようにするための、普及啓発の機会とする。 (内容) グループホームでの生活について。	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
面白科学で工作	(目的) ①年齢の違う子どもたちが一緒に作業することでお互いの交流をはかる。 ②親世代より上の大人である講師との世代間交流をはかる。 (内容) 子育て支援事業・地域交流の一環として、地域の小中学生を対象に科学の実験を交えた講座を行う。	8月 1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
全館清掃	<p>(目的) 清掃を通して、施設をきれいに使おうという意識向上と、貸室団体の交流をはかる。</p> <p>(内容) 貸室登録団体のメンバーと館内及び敷地内の清掃を行う。</p>	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
干支の折り紙	<p>(目的) 折り紙を通しての世代間交流と高齢者の外出機会の創出する。</p> <p>(内容) 干支にちなんだ折り紙講座。</p>	11月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かやのき祭り	<p>(目的) 地域の人々に広く地域ケアプラザの活動等を知ってもらいと共に、ボランティア団体同士の交流をはかる。</p> <p>(内容) 施設祭り。</p>	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チューリップシ アター (かやのき名画 座)	<p>(目的) ①高齢者の外出の機会の創出。 ②ケアプラザの広報をはかる。</p> <p>(内容) 映画会。</p>	4月・10月 2回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
納涼祭	(目的) 地域住民交流機会の創出と地域へのケアプラザ周知をはかる。 (内容) 納涼祭。	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき土曜コンサート	(目的) ①生の音楽に触れる機会を設け、親子の交流と地域住民同士の交流をはかる。 ②地域での音楽演奏サークルなどの出演機会を設け、地域活動への参加を促す。 (内容) 地域住民を対象としたミニコンサート。	奇数月の第2又は第4土曜日 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	(目的) ①ボランティア団体・個人同士の情報交換の場を設ける。 ②ボランティア団体同士の交流をはかる。 (内容) ボランティアの交流会及びスキルアップ講座。	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなでハイキング	(目的) ①ハイキングを通じて、参加者同士の交流をはかる。 ②銀のつどい卒業生の地域活動の場の創出。 (内容) 地域住民を対象とした町歩き。	4月・10月 2回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズフラワーアレンジメント	(目的) 子育て世代や、小学生にケアプラザを知ってもらいきっかけを作る。 (内容) 小学生を中心としたフラワーアレンジメント。	5月・6月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
銀のつどい	(目的) ①高齢者の閉じこもり防止。 ②ボランティア活動の活性化。 (内容) ボランティアによるミニデイサービス。	毎週金曜日 ※祝日・第5除く 47回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで脳活レク	(目的) 地域ケアプラザとなじみの薄い地区センター利用者にケアプラザを知ってもらいきっかけを作る。 (内容) 高齢者を対象とした脳トレレクリエーション。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
彩色水墨画	(目的) ①共通の趣味を通しての地域住民同士の交流を図る。 (内容) 彩色水墨画の基本を学ぶ講座。	9月～1月 毎月第3水曜日 5回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズで 健脳	<p>(目的)</p> <p>①地域の高齢者に介護予防に関心を持ってもらうきっかけ作り。</p> <p>②地域にコグニサイズについて知ってもらう。</p> <p>(内容)</p> <p>高齢者を対象としたコグニサイズ体験。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボラン ティアポイント 登録研修会	<p>(目的)</p> <p>①地域の高齢者にボランティア活動に参加してもらうきっかけ作り。</p> <p>②既存の団体の活性化。</p> <p>(内容)</p> <p>シニアボランティアポイント登録研修会。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中国結びで作る ストラップ	<p>(目的)</p> <p>①地域でのサロンの活性化。</p> <p>②地域サロンに興味を持ってもらう。</p> <p>(内容)</p> <p>中国結びを使ったストラップ作り。ボランティア活動をしている方を対象に実施。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声家族 in 大 場	<p>(目的)</p> <p>①ボランティアによるミニデイサービス「銀のつどい」を地域の方に知ってもらう。</p> <p>②地域の方にケアプラザに来場してもらうきっかけ作り</p> <p>(内容)</p> <p>ギター伴奏による歌声喫茶。</p>	3月 1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
環境絵日記展	<p>(目的)</p> <p>①小学生とその養育者、家族などに地域ケアプラザを知ってもらいきっかけ作り。 ②環境問題に関心を持ってもらうきっかけ作り。 ③市や関連団体、企業等との連携した事業を行うことで、地域の活性化をはかる。</p> <p>(内容)</p> <p>2017年度に横浜市資源リサイクル協同組合が募集した環境絵日記の展示。</p>	2月～3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人形劇3月特別講演	<p>(目的)</p> <p>①地域の親子がケアプラザに来館するきっかけを作る。 ②様々な世代の方が共通のものを見、場の共有をする。</p> <p>(内容)</p> <p>人形劇サークルによる人形劇公演。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおばカノン 2018	<p>(目的)</p> <p>青葉区内にある福祉保健施設（地域ケアプラザ等）と区民文化センターフィリアホールが主となって開催する『ネットワーク』『協働』をテーマにした自然災害復興支援チャリティーイベント。</p> <p>(内容)</p> <p>チャリティーコンサート。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>(目的)</p> <p>地域の方に認知症を正しく理解して頂き、認知症の方々が安心して過ごせる地域づくりを目指す。</p> <p>(内容)</p> <p>養成講座の開催。</p>	8回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
定例カンファレンス	<p>(目的) ケアマネジャースキルアップ。関係者間の連携強化。</p> <p>(内容) ①エリア内のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供を行う。 ②民生委員や医療（医師、訪問看護師、薬剤師）との連携の場を設ける。</p>	月1回 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任ケアマネ研修	<p>(目的) 新任ケアマネジャーの育成、連携強化。</p> <p>(内容) 区内の新任ケアマネジャーに、区内包括地域支援センター合同でオリエンテーションや研修、実習を行う。</p>	後期（11月～2月） に実施 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ねっとわーく青葉	<p>(目的) 区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問介護、通所、訪問看護、施設）の顔の見える関係づくり。連携強化。</p> <p>(内容) 区内5連絡会の顔の見える・相談し合える関係づくりのために顔を合わせと意見交換会等を行う。</p>	全体会（9月） エリア会（2月） 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大人の一芸講座 バルーンアート 教室 体験	<p>(目的) ①バルーンアートを体験するきっかけ作り。 ②共通の趣味を持った仲間づくり。</p> <p>(内容) バルーンアート芸の魅力・披露する楽しさに触れる。</p>	6月14日 1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の一芸講座 バルーンアート 教室	<p>(目的)</p> <p>① バルーンアートの技術を学ぶ。 ② 共通の趣味を通しての地域住民の交流地域住民の交流。 ③ 地域ボランティアグループの育成。 ④ 地域活動について学ぶ。</p> <p>(内容)</p> <p>① バルーンアート技術やトーク技術などを学ぶ。 ② ボランティア活動について学ぶ。</p>	7月19日 8月2・23日 9月5・20日 10月10・17日 11月8・22日 12月6日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の一芸講座 バルーンアート 教室 追加講座	<p>(目的)</p> <p>① バルーンアートの技術を学ぶ。 ② メンバー同士の交流を深める。 ③ 地域ボランティアグループの育成。 ④ 地域活動について学ぶ。</p> <p>(内容)</p> <p>① バルーンアート技術やトーク技術などを学ぶ。 ② 地域イベントにボランティアとして参加し、地域活動を学ぶ。</p>	1月9・23日 2月6・20日 3月6・20日 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェかやのき	<p>(目的)</p> <p>① 認知症ご本人や家族が安心して足を運ぶことができ、必要に応じて相談もできる場を作る。 ② 地域の方や専門職など様々な人がそれぞれの立場で認知症について情報交換ができる場を作る。 ③ 認知症のことを学べる場を作る。</p> <p>(内容)</p> <p>① 認知症に関するゲストスピーチ。 ② カフェタイム。</p>	2月1日 3月1日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>(目的)</p> <p>① 介護者のリフレッシュ、情報交換。</p> <p>(内容)</p> <p>① 茶話会。</p>	毎月第4水曜日 (7月・12月以外) 10回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者のつどい	(目的) ①介護者のつどいに参加しにくい男性介護者のリフレッシュ、情報交換。 (内容) ①茶話会、医師からのアドバイス等。	8月28日 1回